



はやぶさ2のカプセルの中には

12月6日に地球に^{とうちやく}到着した、はやぶさ2のカプセルは、回収の翌日^{よくじつ}オーストラリアを出発し、翌8日には相模原^{さがみはら}にあるJAXA宇宙科学研究所^{ジャクサうちゅうかがくけんきゅうじょ}へと届けられました。出発前の分析^{ぶんせき}でカプセルには小惑星リュウグウの砂(サンプル)以外に、砂から発生したと考えられるガスも含まれていることが分かりました。その重さの分析から、地球の大気が^{こんにゆう}混入したものではないことが分かっていますが、本格的な解析^{かいせき}はこれからです。



サンプルキャッチャーA 室内に確認されたリュウグウのサンプル(12/15撮影)(JAXA)

12月15日には、真空^{しんくう}チャンバーの中で、カプセルに3つある格納室^{かくのうしつ}の1つが開けられ、3室の合計で5.4グラムものサンプルが入っていることが分かりました。リュウグウは炭素^{たんそ}を多く含んだ小惑星^{ふく}で、その表面^{ひょうめん}はとても黒かったので、サンプルも予想通り^{よそうどお}黒いものでした。きちんと解析しないと分かりませんが、このサンプルには、生命^{みなもと}の源となる物質が含まれている可能性があります。

はやぶさ2はリュウグウにクレーターを作って、内部のサンプルも持ち帰っています。こちらはまだ開かれていません。ここには、小惑星が出来た数十億年前^{おくじゅうほう}の情報が残っています。人類^{じんるい}を含む地球の生命^{きげん}の起源^{きげん}がどこにあるのでしょうか？ それは、宇宙なのかも知れません。多くのサンプルが得られたことは、詳しい分析^{くわ}ができるということです。夢は大きく膨らみます。

2020年12月19日記 (解説員:田部一志)